

詳細説明：**(a) アルビル市バハール地区ハンダ小学校**
6 教室の増築

【背景】ハンダ小学校は、アルビル市内の南西のバハール地区にある。この地区は、マフムール地区に近く、1980 年代、旧フセイン政権により破壊された村々が多くあるマフムール地区から避難してきた国内避難民が約 3000 世帯居住している。

【学校の状況】同小学校は、2007 年に建設され、教員室が 2 部屋と 7 教室ある。現在、585 人の生徒が登録しており、2 交代制で授業を実施しているが、登録した生徒をすべて受け入れるスペースがなく、すべての生徒が授業を受けられていない状況にある。2010 年度は、入学希望者 320 人のうち、教室不足のため 200 人が入学を拒否されている。その結果、入学拒否された生徒は翌年度の入学を待つことになっているが、同小学校の状況が変わっていないため、2011 年度も入学できない可能性が大きい。そのため、近い将来、退学生や学校に登校できない生徒が増え、非識字率が結果的に増加することになる。

* アルビル州において、現地行政により学校建設や修復、増築などが進められているが、本事業においては、2011 年のアルビル州教育省の年間計画に修復、増築等の計画が含まれていない学校を選んでいる。

(b) ダスティハウレア郡アラブカンド村小学校
3 教室の増築、既存校舎の修復、トイレ修復増築

【背景】アラブカンド村は、アルビル市の 20 km 南西に位置するマクムール地域への道中に位置し、1987 年から 1988 年にかけて、旧フセイン政権により破壊された村である。当時、村民は避難し、アルビル市及び周辺地域に移住したが、その後 1991 年クルド人蜂起後、村民は自発的に帰還したという歴史を持つ。現在約 130 世帯が居住している。

【学校の状況】1994 年頃に 6 教室からなる 1 つの小学校が村内に建てられた。現在、1~9 年生生徒 230 人がこの学校通っており、2 交代制で授業を実施している。7 年生以上の生徒を受け入れる学校がない近隣地域からの生徒も受け入れている。トイレは 2 つあるが、そのうち一つは全く使用できない状況にある。

すべての教室の壁には亀裂が入り、隣の教室を見通せるような状況にある。また、電気の配線がきちんと敷設されておらず、窓から配線がむき出しとなっている。そのため、窓を開けるときに危険が伴う。実際、これまで生徒 2 人が感電する事故が起きている。

(c) シャクラワ郡シャウイス村ペイマン小学校
4 教室の増築、トイレの修復増築、電気修復工事

【背景】ペイマン小学校はアルビル市の 20 km 北西に位置するシャウイス村にある。この村は 1977 年~1978 年に旧フセイン政権下によってコレクティブタウン（強制的共同集落）として形成された。村民はクルド地域の制圧を目的に同じ政権によって破壊された山岳地域からの避難民が含まれる。現在の居住者の多くはイラン国境近くのバラダラッシュ地域（アクレ地区）及びジョマン地域（ソラン地区）の破壊された村からの避難民である。ここ数年でさらにアルビル市からの低所得者層の世帯がシャウイス村に移住してきており、人口の増加傾向にある。現在は 3000 世帯以上が村に居住。学校は 4 校あるが、未だに多数の生徒の受け入れができていない状況にある。

【学校の状況】現在、同ペイマン小学校では、3交代制をとっており、第1、第2シフトとして日中に1～6年生が授業を受け、夜間に第3シフトとして7～9年生が授業を受けており、1～6年生が731名、夜間の7～9年生クラスに287人が在籍している。校舎は1979年に6教室の簡易校舎が建設されており、その後90年代に村の居住者の増加に伴い、拡張工事がなされたが、全ての需要を満たすものではなかったため、教育省が2009年、2010年に教室用としてプレハブを提供している。現在、既存校舎の6教室とプレハブ2教室の合計8教室に1～6年生の場合、1教室に平均45人で勉強している状態である。また、学校全体でトイレが2つしかなく、生徒数に対して十分ではない上、トイレの一つは浄化槽が詰まったまま使用できる状態になく、修復が困難なため新しい浄化槽を設置する必要がある。

(d) シャクラワ郡シサワ村小学校
4教室の増築

【背景】シサワ村小学校のあるシサワ村はシャクラワ郡の中心であるシャクラワ町から19km離れたシャクラワ地域に位置する。シサワ村は1987年に前政権により破壊され、村民は避難し、住民は強制的にコレクティブタウンに居住させられた。1991年を境に、住民が帰還を始め、現在約300世帯が居住している。

【学校の状況】1993年頃に6教室からなる学校が建設された。その後、2003年のフセイン政権の崩壊によりイラクが解放されたことにより、シサワ村に帰還する家族が急激に増加し、現在1～6年生までの315人の生徒がおり、2交代制で授業を行っている。現在ある教室は基準よりも小さく、1教室に35人を超える生徒が1つの机に3人掛けで座って勉強している状況にある。

(e) シャクラワ郡マムジェルガ村小学校
2教室の増築、既存校舎の修復

【背景】マムジェルガ村小学校のあるマムジェルガ村はシャクラワ郡の中心地にあるシャクラワ村から11km離れたシャクラワ地域に位置している。1980年代に前政権の攻撃で何度も破壊され、住民は一時的にコレクティブタウンに強制的に居住させられていた。現在の人口は約90世帯。

【学校の状況】同小学校は、1992年に小さな6教室からなる学校が建設され、現在1～6年生140人の生徒が通っている。校舎には電気配線がないため、辺りが暗くなると授業を実施することができていない。また、学校の周りにフェンスがないため、生徒が安全に運動や遊びができる環境を整えるためのフェンスの設置が必要となっている。

(f) シャクラワ郡シナワ村小学校
6教室校舎の建設

【背景】シナワ村小学校のあるシナワ村は、シャクラワ郡の中心となるシャクラワ町から15km離れたシャクラワ地域に位置している。現在約50世帯が居住している。

【学校の状況】この村には小学校校舎がなく、教育省が民家を借りて学校として使用しており、カーテンなどで仕切った5部屋を教室として利用しているため、授業を実施するに十分な環境が整っていない。また、教室数も十分でないため、2学年以上が合同で授業を行ったり、一人の教員が1コマの授業を半分ずつ別の授業を行うなどして対応している。また、学校には、トイレが一つしかなく、男女の生徒、教員が共同で利用している。

(g) アルビル市バダワ地区シャウネム小学校
4 教室の増築、トイレの増築

【背景】シャウネム小学校は、アルビル市内でも開発が進み、人口が急激に増加したバダワ地区にあり、現在、約 7000 世帯（約 42,000 人）が生活をしている。さらに、周辺地域でも家屋の建設が進み、人口は増加傾向にある。

【学校の状況】

シャウネム小学校は 2007 年に建設されたが、その後過去 3 年間でこの地区の世帯数の増加が著しくなったため、教育省により 3 教室が増築された。現在は全部で 9 教室あり、1～6 年生 907 人の生徒に 2 交代制で授業を実施しているが、2010 年度は、教室不足のため約 200 人の入学希望生徒が入学拒否されており、人口の増加傾向を鑑みるに今後もさらなる教室不足が予想される。

<アルビル郡、ダスティハウレア郡、シャクラワ郡における学校および生徒数>

場所	学校数	他の学校に間借りしている学校数	他の建物を利用した学校数	1 交代制学校数	2 交代制学校数	3 交代制学校数	生徒数計
アルビル郡	354	78	4	219	216	1	231, 202*
ダスティハウレア郡	207	72	39	251	54	13	67, 567**
シャクラワ郡	174	45	32	215	36	0	35, 206***

備考：情報源はアルビル州教育局によるもの。

* 主にアルビル市内の第 1 学年から第 12 学年の生徒数

** 200 村と 71 町の第 1 学年から第 12 学年の生徒数

*** 149 村と 68 町の第 1 学年から第 12 学年の生徒数